

奈良西ノ京「薬師寺」で新入職員研修を実施

～ 村上 太胤 管主の法話を拝聴 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 河村正雄）は、4月19日（水）、奈良西ノ京「薬師寺」において、新入職員の研修を実施しました。

毎年、新入職員研修の一環として精神修養を目的に実施しているもので、今年は新入職員82名が参加しました。

最初に、薬師寺 村上太胤 管主の法話があり、薬師寺や仏教の歴史、日本人として大切にしたい「相手を思いやる心」について学びました。

次に、同寺伽藍を見学し、三蔵法師が西方の天竺に向かう時「経典を持ち帰るという目的を果たさぬうちは、決して東方（唐）には一步も後戻りしない」という気概を示した言葉である「不東」の精神の説明を受け、目標に対してあきらめずに努力し続ける姿勢を学びました。

最後に写経を行い、心を静めて物事に集中することの重要性を体得しました。

新入職員にとって、希望と信念を持って業務に取り組む決意を新たにするとともに、意識や行動を見直すとても貴重な体験になり、大変有意義な研修となりました。

記

1. 実施日時 平成29年4月19日（水） 午前8時40分～午後5時10分
2. 場 所 法相宗大本山 薬師寺（奈良市西ノ京町）
3. 内 容
 - （1）法話 薬師寺 村上太胤 管主
 - （2）伽藍見学
 - ①玄奘三蔵院伽藍（「不東」扁額（※）、玄奘塔、大唐西域壁画殿）
 - ②白鳳伽藍
 - （3）写経
 - （※）玄奘三蔵院 玄奘塔の「不東」扁額は、同院の落慶を祝って、当金庫が平成3年に寄贈。

4. その他

当金庫には、薬師寺にて写経をする顧客組織「シティ信金写経会」があります。本会は昭和52年の発足以来、毎月8日に開催し、写経を通じて多くの方々に心の安らぎを感じていただいています。



村上太胤 管主の法話の様子



玄奘三蔵院伽藍を見学する新入職員

以上